

2024年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2024年6月23日(日)	実施ブロック	第2ブロック	参加人数	22名
会場	葛飾区東金町運動場 多目的広場				
大会名	ブロック選抜 トレーニングマッチ				
指導員名	片岡利文、直井竜二				

指導会当日の概要

- ・日曜日の夕刻からのスケジュールに、天候も時々雨が降る状況の中、22名(女性2名、ユース2名含む)の参加を頂き、実戦形式の研修会を行った。
- ・当日は、技術指導部の協力のもと、TOMAS選抜大会前の強化試合を使用した研修形式で行った。
- ・東京都少年サッカー連盟審判部より、片岡氏・直井氏の2名の指導員の方をお招きして、4試合を担当する審判員と共に、打合せから試合後の振り返りまでの、ご指導を受けた。

ブロックコメント

- ・2Bは、江戸川区と葛飾区で構成されておりますが、リーグ戦の消化及び、各区の大会実施等の関係で、ブロック全体・2区同時での研修会実施が日程的に難しい状況にあります。
- この為、今回の研修会も葛飾区主管にて葛飾区所属チームを主体として、江戸川区からは希望者のみ参加との形式をとり実施致しました。次回は、江戸川区主体の研修会を実施出来ればと思っています。
- ・参加審判員のレベルは、3級上級者から4級取得したばかりの始めて審判をされる方までと範囲が広く、指導しにくい面も多かったと思いますが、研修参加者は、片岡氏・直井氏お二人の指導者の話しを積極的に聞き、内容の濃い研修会が実施できたと思っています。
- ・片岡氏・直井氏には、天候の悪い中ご対応頂き、感謝申し上げます。

指導員コメント

- 〈直井〉・各ブロック選抜チームによる、トーマスカップ前週のテストマッチを審判研修の場としたところはとても良い計画だと思いました。
- ・3ピリオド制で、1試合を3名の審判員で担当し、各ピリオド毎に主審、副審をローテーションで行い、研修者が主審、副審を経験できたところは良かったと思います。
- 〈片岡〉・幅広いレベルの審判員でしたが、参加者の前向きな姿勢が伝わってきました。
- ・質問も多く、様々な意見交換ができたのが良かったです。
- ・今回のような研修の継続は必要と感じました。

指導会写真



2024年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2024年4月6日(土)	実施ブロック	第4ブロック	参加人数	93名
会場	zoom形式				
大会名	開幕前審判研修				
指導員名	平瀬 まさみ				

指導会当日の概要

- ・少年連盟からの挨拶:村上部長
- ・①2023/24競技規則の改正:平瀬
- ・②1人制審判法:平瀬
- ・4B大会の競技規定:4ブロック審判部長川島氏
- ・質疑応答
- ・閉会挨拶:4B委員長・副委員長

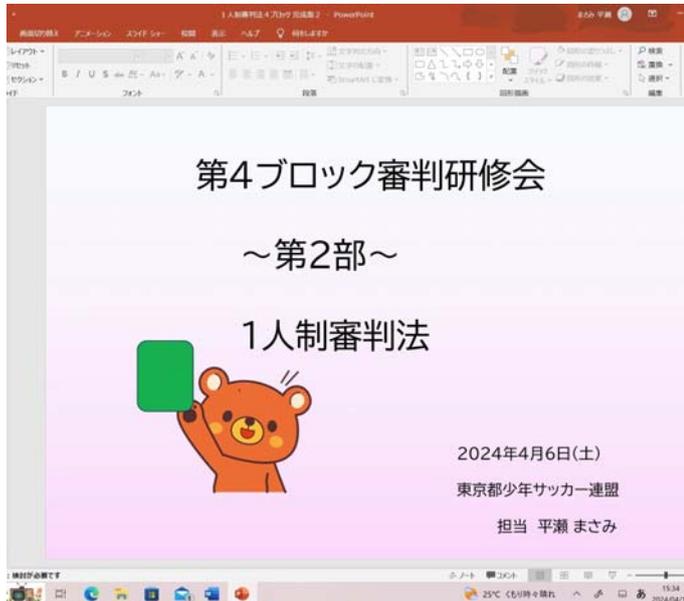
ブロックコメント

- ・村上部長の挨拶で研修を開始、講師平瀬役員よりブロックの審判方法1人制審判をメインの研修を行って頂く。
- ・ブロック90名以上の方が参加、とても有意義な講習会となりました。
- ・お忙しいところありがとうございました。

指導員コメント

- ・4Bは、今後も1人制審判法で運営する試合が多数あるとのことで、1人制審判法について講義しましたが、前向きに聴講していたと感じました。
- ・益々の発展が期待できそうです。

指導会写真



2024年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2024年7月7日(日)	実施ブロック	第13ブロック	参加人数	50名
会場	清瀬市コミュニティプラザひまわり				
大会名	13ブロック審判講習会				
指導員名	川澄正史、平瀬まさみ				

指導会当日の概要

- ・三審制移行を検討するにあたり、副審任務理解のための座学・実技研修を実施。
- ・13時30分から15時:①JFA SQUARE内のビデオを視聴しながらの解説、②審判員への実践的ガイドラインを利用した任務の説明、③試合における副審動画を用いた解説。
- ・15時過ぎ～16時:グラウンドにてシグナルの練習、副審にシャドウ数名を付け、ラインキープから得点・CK・GK・タッチジャッジの手続きを反復練習。
- ・16時過ぎ～16時30分:質疑
- ・16時30分～16時45分:ブロック審判部役員との意見交換。

ブロックコメント

- ・今回の講習では座学において、ルールブックに書かれていない事案への対応や画像を使用した説明が判りやすく、参加者も興味深く受講していた。
- ・グラウンド実習は基本的な旗の動かし方、ラインキープの方法、間違いやすいポイント等をわかりやすく説明して頂き、参加者も学習になっていったと感じている。
- ・終了後の反省会においては、このような講習会の実施が審判員の増員・育成に役立ち、3審制への各チームの意識醸造につながるとの意見が多く出ており、13ブロックとしても、継続的に審判育成プログラムを進めていく考えである。

指導員コメント

- ・高気温のため実技時間を短め、座学を長めとして実施した。
- ・時間的理由で、少年副審任務の特徴とその実践方法に焦点を当て説明した。
- ・受講者は集中して参加されたので、効果的・効率的な説明が出来た。
- ・実技は当初予定よりも短くはあったが参加者は暑い中、しっかりと取り組まれた。
- ・実際にフィールド内の動きを見て、体を動かすことで、シグナルや位置取りなど、すべきことの基本事項を理解されたと思う。
- ・今回は初心者・初級者向けの講習であったが、次の機会にはより実践的な内容を学びあう機会があるとよいと思っています。
- ・初心者、初級者を対象ということで、川澄氏により座学を進めていました。
- ・競技規則に書かれていない部分にも触れながら、競技規則に書かれていることを分かりやすく説明されていたので、受講者も熱心に聞いておりました。
- ・その後の実技と言うことで、聞いたことをその場で動いて学べたので、頭に入りやすかった様子でした。
- ・猛暑の中、皆さん笑顔もある中、熱心に取り組んでいました。
- ・今後は継続的にそして、今度は実践形式で行えればと思います。

指導会写真

